

## 第2回 大野市脱炭素推進本部会議 議事要旨

日時：令和4年9月1日(木)  
10時30分～11時30分  
場所：結とぴあ302号室

### 1 開会

事務局より開会

### 2 本部長あいさつ

- ・令和4年度では第1回目の脱炭素推進本部会議となる。令和3年3月には2050年にゼロカーボンシティを目指すと宣言している。令和3年度から大野市としての脱炭素ビジョンを協議会や市民との協同により作成に取り組んでいる。脱炭素の取組みということで、今年度については、公共交通や自転車を使う取組みを進めている。市役所のなかで出来ることから盛り上げていくこと、大野市脱炭素ビジョン策定を通じて大野市全体を盛り上げていくことを目的として第2回大野市脱炭素推進本部会議を開催するものである。脱炭素の取組みについて各部局から報告を受けるとともに、大野市脱炭素ビジョン策定の進捗状況について報告をもらいたい。

### 3 議事

#### (1) 大野市の取組みについて・・・資料1

##### (説明概要)

- ・各部局の取組みとして、「職員の出張時における公共交通機関の利用促進」、「自転車を活用したまちづくり」、「生分解性マルチ普及促進事業」、「ファミリーリゾート休養施設木質バイオマスボイラ導入事業」、「公共施設太陽光発電等導入調査事業」、「ゼロカーボン推進事業」、「消費者団体における生ごみ減量化の推進」、「小学校施設営繕事業(小学校 ZEB 化調査等)」等を報告。

##### (意見、質疑)

- ・取組みを市民の方にも周知することで脱炭素仲間も増えてくるかと思うので、引き続き取り組んでいきたい。
- ・脱炭素のためには、消費する視点と吸収する視点がある。消費する視点側からすると、使うエネルギーを減らすとエネルギーを創るという視点が必要である。吸収する視点側とすると、木を伐って使って植えるといったサイクルが必要である。
- ・脱炭素は難しいものでなく自分たちのためにもなる「脱炭素×地域課題の解決」といった視点を取り入れて取組みを進めることが大切。
- ・大野市ゼロカーボンシティの宣言後、市民の方から「私たちは何をすればいいのか」、「市役所は何をしてくれるんだ」といった声が出てくるが、脱炭素は世界共通の目標で

あるから、市民の皆さんと一緒にやりながらやり方を見つけていくということを市民に対し申し上げている。脱炭素に向けた大きな方向性を皆さんと共有しようということで大野市脱炭素ビジョンの策定に取り組んでいる。

- ・ 公共施設の脱炭素化も大きな課題であるので、引き続き取り組んでいきたい。

## (2) 大野市脱炭素ビジョン策定について・・・資料2

### (説明概要)

- ・ 令和3年度の取り組みとして、何も対策をしない場合の温室効果ガスの排出量と吸収量を推計し現状把握を行うとともに、市内関係者・関係機関で構成する策定協議会を立ち上げ、情報共有を図り、地域課題を抽出した。令和4年3月にはワークショップを開催し、脱炭素なライフスタイルのご意見をいただき、市民が思い描く絵姿を作成した。
- ・ 今年度はCO2削減量や経済性、実現可能性を比較検討し、大野市が目指す脱炭素シナリオの作成を行うとともに、脱炭素シナリオの実現に向けたプロジェクト案を検討していき、大野市脱炭素ビジョンを策定したいと考えている。
- ・ 脱炭素ビジョン策定スケジュールとしては、脱炭素シナリオや取り組み方針について9月末に策定協議会においてご意見をいただきたいと考えている。プロジェクト案の検討も同時に進め、再度12月末に策定協議会においてご意見を頂きたいと考えている。来年2月頃にパブリックコメントを経て3月末に大野市脱炭素ビジョンを策定したいと考えている。
- ・ 事務局において脱炭素シナリオや取り組み方針について検討しているところ。今後、庁内関係部署から意見集約したうえで、策定協議会を通じ市内関係者から意見をいただき、策定につなげていきたい。

### (意見、質疑)

- ・ 大野市脱炭素ビジョンは市役所内で完結するものではなく、市民も含め大野市全体で策定していくものになる。市民や団体の巻き込み方には注意して丁寧に進めていくべき。

## (3) その他

特になし

## 4 副本部長あいさつ

- ・ CO2削減の取り組みに加えて、公共交通の利用促進や市民の利便性向上など地域課題の解決の要素も含んだ取り組みが大切であり、情報共有が図れたかと思う。脱炭素は市役所内だけで達成できるものでなく、市民や企業、団体などいろんな活動に広げていかなければならず、方向性の共有を図るために脱炭素ビジョンの策定に取り組んでいる。引き続き全庁体制で取り組んでいかなければいけないのでご協力よろしく願います。

## 5 閉会

事務局より閉会